

研究会開催通知

(昭和56年5月15日～6月30日)

研 究 会	日	時	会 場	備 考
ソフトウェア工学	5月15日(金)	13:30～17:00	第32森ビル	前号参照
電子装置設計技術	6月9日(木)	13:30～17:00	機械振興会館	下記参照
計算機システムの解析と制御	6月12日(金)	13:30～17:00	第32森ビル	同上
人工知能と対話技法	6月19日(金)	13:30～17:00	同上	同上
コンピュータ・グラフィクス	6月23日(火)	13:30～17:00	機械振興会館	同上
記 号 処 理	6月24日(水)	11:00～17:00	電 通 大	同上
分散処理システム	6月25日(木)	13:30～17:00	第32森ビル	同上

◆ 第9回 電子装置設計技術研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 山田昭彦, 代表幹事: 上田 勤, 和田 康)

- 日 時** 昭和56年6月9日(木) 午後1時半～5時
- 会 場** 機械振興会館 地下3階1号室
〔東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 都営6号線御成門下車, 国電: 浜松町下車, バス: 渋谷-東京タワー線東京タワー, 等々力-東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車, Tel. 03 (434) 8211〕
- 議 題**
- (1) フレームとデモンによる CAD システム (FIDDLE)
 齊藤隆夫, 川戸信明, 上原貴夫 (富士通研究所)
 〔概要〕 人工知能で用いられるフレームとデモンを利用した論理設計の CAD システムについて述べる.
 - (2) 単一経路活性化法に基づく検査入力生成プログラム (Eアルゴリズム)
 高松雄三 (佐賀大・理工), 藤原秀雄 (阪大・工), 樹下行三 (広大)
 〔概要〕 簡易な検査入力生成として, 単一経路活性化法で検査生成を行う計算機プログラム作成について報告する.
 - (3) 機能記述によるテスト発生手法
 星野民夫, 和田 康, 須藤常太 (電電・武蔵野通研)
 〔概要〕 機能ブロック活性化法を用いた自動テスト発生プログラムを完成させた. 本論ではその手法とテスト発生結果について述べる.
 - (4) グローバル・ルータの高速化について
 浅野哲夫 (大阪電通大・工)
 〔概要〕 Soukup が提案した配線手法 (グローバル・ルータ) の問題点と, 高速化のための方法について述べる.

◆ 第13回 計算機システムの解析と制御研究会

(発表件数: 3件)

(主査: 高橋延匡, 代表幹事: 亀田壽夫, 益田隆司)

- 日 時 昭和 56 年 6 月 12 日 (金) 午後 1 時半～5 時
 会 場 第 32 森ビル 地下 2 階第一会議室
 [東京都港区芝公園 3-4, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 都営 6 号線御成門下車, 国電: 浜松町下車, バス: 渋谷-東京タワー線東京タワー, 等々力-東京駅八重洲線虎ノ門 5 丁目下車, 機械振興会館並び浜松町寄り徒歩 1 分, 東京タワー向い. Tel. 03 (591) 1351 (大代表)]
- 議 題 (1) ポリプロセッサシステム EPOS のオペレーティングシステムとその性能評価について 田中哲男, 石田勝世, 上田隆司, 山崎 勇 (東芝総研)
 [概要] ファームウェアを用いて専用化したコンピュータモジュールで構成された計算機複合体 EPOS の OS の構造と性能測定結果について報告する.
- (2) 大容量記憶システムの利用特性と動作解析
 金沢正憲, 飯田記子, 柴山 守 (京大・大型計算機センター)
 萩原 宏 (京大・工)
 [概要] 大容量記憶システムに関して京都大学大型計算機センターにおける利用特性と動作解析の結果について述べる.
- (3) 分散型計算機システム性能予測ツールの開発
 本山博司, 大町一彦 (日立)
 [概要] シミュレーションと解析手法を併用し, 多ノードの場合でも短時間で予測可能とし, 他に分散向けの工夫をした.

◆ 第 21 回 人工知能と対話技法研究会 (発表件数: 3 件)

(主査: 田中幸吉, 代表幹事: 白井良明, 小川 均)

- 日 時 昭和 56 年 6 月 19 日 (金) 午後 1 時半～5 時
 会 場 第 32 森ビル 地下 2 階第一会議室 (所在地は前記参照)
 議 題 (1) グラフィック・ディスプレイを多用した Lisp プログラミング環境
 齊藤康己 (電電・武蔵野通研)
 [概要] プログラミングを総合的に援助するシステム (アプレントイス) を提案し, アプレントイスがプログラマに種々の情報を伝える際にグラフィックディスプレイ上の図やテキストを有効に利用する方法を紹介する.
- (2) 質問における焦点と前提を考慮した QA システムについて
 豊田順一, 市山俊治 (阪大・基礎工)
 [概要] 質問者が何を前提として, 何を要求しているかを質問に含まれる前提と焦点から求め, 検索失敗時の根本的原因の解明と近似的応答を行うシステムについて述べる.
- (3) フレームモデルおよびブラックボードモデルについて
 —UNITS と AGE の紹介と使用経験— 上野晴樹 (電機大・理工)
 [概要] UNITS と AGE の基本構造を例題を使って紹介し, 使用経験にもとづいて評価を試みる.

◆ 第 1 回 コンピュータ・グラフィクス研究会 (発表件数: 4 件)

(主査: 穂坂 衛, 代表幹事: 井越昌紀, 木村文彦, 松家英雄)

- 日時 昭和 56 年 6 月 23 日 (火) 午後 1 時半～5 時
会場 機械振興会館 地下 3 階 2 号室 (所在地は前記参照)
- 議題 (1) 汎用ネットワーク編集解析システム (GEANS) における対話的編集解析機能
伊藤 潔, 村松克美, 松井真備人, 鈴木誠道 (上智大・理工)
〔概要〕 グラフィクスを本格的に導入して, 対象システムのネットワークモデルを編集し, 解析する汎用編集解析システム GEANS の対話機能の有意性を述べ, さらに, ペトリネット, PERT/CPM, 輸送問題, PSL 等への GEANS の適用の現状と将来について述べる.
- (2) 条件付キーフレーム・アニメーションの研究
安居院猛, 竹田昌弘, 中嶋正之 (東工大・像情報工学研究施設)
〔概要〕 デジタル計算機を使用し, 3 次元データベースにもとづく折り紙のアニメーションを, 条件付キーフレーム法を用いて作成する方法について述べる.
- (3) ビジュアル・デザイン・システム
松家英雄, 宇野 栄, 杉本和敏 (日本アイ・ビー・エム)
高間譲二 (早大)
〔概要〕 本稿は, 装置独立グラフィクスのもとで稼動している, カラーグラフィクスを中心としたビジュアル・デザイン・システムについて述べる.
- (4) グラフィクスの標準化について
穂坂 衛 (電機大・電気通信工学), 木村文彦 (東大・工)
〔概要〕 グラフィクス標準化の動向, とくに西独で開発されつつある GKS の概要と使用経験, および ISO, TC 9/SC 5 における活動の現状について述べる.

◆ 第 17 回 記号処理研究会 (発表件数: 3 件)

(主査: 池野信一, 代表幹事: 黒川利明, 中西正和, 横井俊夫)

- 日時 昭和 56 年 6 月 24 日 (水) 午前 11 時～午後 5 時
会場 電気通信大学・西 3 号館 301 号室
〔調布市調布ヶ丘 1-5-1, 新宿より京王線 調布駅北口下車 (特急にて 2 つ目, 特急 20 分間隔), 徒歩 15 分. Tel. 0424 (83) 2161〕
- 議題 (1) 関数的プログラム作成支援システムのための構造エディタ
永田守男, 折田圭子 (慶大・工)
〔概要〕 関数的プログラムの作成を支援する会話型システム KSR に構造エディタを付加したので, その設計方針, 製作方法ならびに使用経験などについて報告する. また, こうしたシステムにおける構造エディタの役割についても考察を加える.
- (2) FLATS における記号処理命令について 稲田信幸 (理研)
〔概要〕 記号処理に関連したデータ構造およびハードウェア基本命令のアルゴリズムについて述べる.
- (3) Ada とその記号処理への応用 寺島元章 (電通大・計算機科学)
〔概要〕 P-code インタプリタの Ada 処理系の概要とその処理系上に作成した記

号処理プログラムの例について述べる。

- (4) **フォーラム**：知識工学用マシン 淵 一博（電総研）
〔概要〕 将来の情報処理応用を考えた場合の知識工学用マシン（高水準記号処理マシン）について、その可能性はどうか、そのイメージはどうか、自由討論を行います。
- (5) 研究会終了後、電気通信大学計算機科学科・教育用計算機システムの見学を行います。

◆ 第9回 分散処理システム研究会 （発表件数：4件）

（主査：戸田 巖，代表幹事：田中英彦，村上國男）

- | | | |
|------------------|-------------|--|
| 日
時
場
議 | 時
場
題 | 昭和56年6月25日（木）午後1時半～5時
第32森ビル 地下2階第一会議室（所在地は前記参照）
(1) 分散処理システムの研究領域 戸田 巖（電電・横須賀通研）
〔概要〕 分散処理システムの性格付け，主要研究領域等について概観する。
(2) HDLC-NRM 手順端末のパケット網への収容方式
田中良和，清野浩一，野村雅行，岡田 博（電電・武蔵野通研）
〔概要〕 HDLC NRM 手順を使用する端末をパケット網に収容する方式についてパケット組立分解機能の負荷，経済比較等の評価を行い，HDLC NRM 2次局手順端末をパケット網に収容し，X. 25 端末と相互接続する方式が専用線を使用した場合に比べても適用領域があることを明らかにし，具体的な HDLC NRM 手順-X. 25 手順間の手順変換方式を述べる。
(3) オートマトンモデルによるパケットレベルプロトコルの製品検証
加藤聰彦，斉藤忠夫，猪瀬 博（東大・工）
〔概要〕 計算機網において，製品を網に接続する場合のプロトコル検証のための，完全なテストシーケンスの発生法について，先に HDLC レベルの場合について報告したが，さらにパケットレベルについて検討したので報告する。
(4) 光データリンクシステムとその分散処理への応用 匠 健太（日電）
〔概要〕 光ファイバケーブルを幹線とするデータリンクシステムとその分散処理への応用について述べる。 |
|------------------|-------------|--|

◆ 自然言語処理（計算言語）研究会

第26回 研究会を下記により開催いたします。

日 時 昭和56年7月2日（木）午前9時半～午後3時

会 場 機械振興会館 地下3階2号室

議 題 発表件数5件を予定しています。なお詳細は次号（6月号）に掲載いたします。

◆ 分散処理システム研究会

本年度は，9月にローカル・ネットワークとオフィス・オートメーションを特に取りあげて東京で開催し，11月（仙台），2月（東京）で開催の予定です。発表希望の方は事務局研究会係までお申込下さい。

シンポジウム「日本文の入力方式」開催のお知らせ

前号（4月号）本欄でお知らせしましたが、「日本文入力法研究委員会」が、54年来2年間にわたり地道な調査研究を行ってきた成果にもとづき、わが国一流の多彩なる研究者の代表を一堂に集めて、標記のシンポジウムを行います。定員に制限がありますので、早目にお申込みください。（参加申込書は4月号にあります）

日 時 昭和56年7月2日（木）9：00～17：00
3日（金）9：00～17：00

場 所 機械振興会館大ホール（地下2階）

協賛学協会 日本印刷学会，日本軽印刷工業会

レセプション 7月2日（木）17：30～

参加費 会員，協賛学協会員 10,000円

学生会員 5,000円

非会員 15,000円

（レセプション参加費2,000円は別途）

Proceedings 当日，会場にてお渡し致します。

申込締切 昭和56年6月19日（金）

新年度にあたって会員各位へのお願い

総務担当理事

例年のことで恐縮ですが、新年度にあたって、会員の皆様につきの点につきご確認いただき、あわせてご協力のほどお願いいたします。

（1） 会誌の受取り先（宛名）に変更があった際には、ハガキで直ぐ連絡ください。（電話による連絡は手違いを生じ易いので、お受けいたしかねます。）

（2） 今春大学を卒業した学生会員（修士課程を除く）は、正会員の扱いとなります。2月号綴込みの郵便振替用紙で、正会員費（7,200円）を自発的に送付してください。

（3） 退会希望の会員は、ハガキでその旨お申出ください（様式任意）。ただし、その際には4月以降に受取った会誌は定価により精算いたしますので、ご了承ください。

（なお、勤務先での知人、友人に、できるだけ年度始めの5月中に入会するようご勧誘ください。入会案内および申込書は、宛名明記、60円貼付の定型（大）封筒を同封のうえ、ご請求くだされば、すぐ送ります。）

「情報処理叢書」の発行について

このたび「情報処理叢書 No. 5」として、「論理装置の CAD」が発行されました。本書はよりよい電子計算機を作るための計算機援用設計技術 CAD について本学会電子装置設計技術研究会の委員会でもとめたものです。

内容は、1章：概説 2章：論理設計における CAD 3章：実装設計における CAD 4章：自動検査と CAD 5章：CAD システム からなり、近く本書を使用した講習会が同研究会で計画されています。

本書の発行により、すでに本欄で案内したものを含めてつぎの5冊が発行されたこととなります。購読希望者は下記により、ご注文ください。(非会員はオーム社扱いです。最寄りの書店へ申込むこと)

No.	書名	著者名	頁数	会員特価 (定価)
1	データベースマシン	植村俊亮, 前川 守	170 ^(P)	1,500 ^(円) (1,900 ^(円))
2	データベース理論	有澤 博	104	1,200 (1,500)
3	コンピュータネットワーク技術	猪瀬 博 (監修) 苗村憲司, 田畑孝一 浅野正一郎	114	1,200 (1,500)
4	医療情報学	開原成允, 稲田 紘	192	1,500 (1,900)
5	論理装置の CAD	樹下行三 (編)	114	1,200 (1,500)

(注) 郵送の場合には、下記送料をあわせて送金ください。

1冊 (300円), 2~3冊 (350円), 4冊 (400円), 5~6冊 (500円)

○払込口座

振替口座 東京 5-83484

銀行普通口座 三 菱 030-0000608

第一勧業	1013945	} 虎ノ門支店
住友	40879	
富士	993632	
三井	4298739	

欧文誌の原稿募集について

1978年4月に欧文誌“Journal of Information Processing”を創刊いたしました。同誌に論文発表を希望される会員は、下記を参照のうえ原稿を寄せられるようご案内いたします。

1. 欧文誌発行の目的

わが国の情報処理の研究水準向上のため、情報処理に関する諸研究の国際交流をはかる。

2. 発行計画

- (1) 50ページ×4回/年=200ページ、A4判
- (2) 純学術研究発表誌とし、PaperとShort Noteを募集する。
 - (i) Paper(原則として刷上り8ページ以内)——「情報処理」掲載の論文と同じ査読規準に基づき、欧文誌編集委員会で採録を認められた欧文論文。
 - (ii) Short Note(2ページ以内に限り)——「情報処理」掲載のショート・ノートに準じて、採録を認められた欧文による小論文。

3. 「情報処理」との関連

PaperとShort Noteの和文アブストラクトを「情報処理」に掲載する。

4. 論文原稿の書き方

- (1) 用紙はA4判(21cm×30cm)の白紙を使い、1行65ストローク、ダブルスペースで上下3cm(強)の余白を残し、パラグラフは初めを5~6字分あける。この様式で原稿をタイプした場合(図表なしで)24枚で、欧文誌刷上り8ページに当る。なお文章中指定のない場合の記号は立体、数式中の記号は斜体(イタリック)となる。
- (2) 査読の都合上、タイトル、氏名、所属およびアブストラクトを和英両語で別紙に記述する。なお和文アブストラクトは英文アブストラクトの邦訳とする。
 - (i) Paperのアブストラクト——200語以内
 - (ii) Short Noteのアブストラクト——50語以内
- (3) 図表(写真を含む)は、完成図(そのまま縮小製版できるもので、縮版した場合の希望のできあがり寸法を指定する。なお、文字は縮版のさいも読める大きさに書く。)を本文と別にし、説明文は別紙にまとめてタイプし、本文の末尾につける。ただし原稿中に図表のそう入場所を指定する。
- (4) 寄稿のさいキーワード表を添付する。(用紙は欧文誌係にご請求ください。)

5. 原稿の送付

- (1) コピー4部を送付する。
- (2) 送付先: 情報処理学会「欧文誌係」

〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3号

6. 別刷料

下記の通り別刷100部を印刷実費の一部として、ご負担いただきます。

ページ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
別刷料	5,000	10,000	15,000	20,000	25,000	30,000	35,000	40,000	55,000	70,000

情報処理学会第23回全国大会について

—概要と論文募集要領—

全国大会を56年から年2回春、秋に開催することになり、第23回全国大会は下記により開催します。論文発表を希望される会員は、下記要領により、早目にお申込みください。

- 開催期日** 昭和56年10月14日(水)～16日(金)
- 会場** 東京大学工学部(文京区本郷7-3-1)
- 応募資格** 本学会個人会員(正会員、学生会員)に限ります。共同発表の場合には、登壇発表者は会員でなければなりません。ただし、登壇発表は本大会中1人1回に限ります。また、発表は日本語または英語で行うものとします。なお、56年度会費未納の会員は、登壇発表ができません。
- 申込料** 不要です。ただし、登壇発表される方は、論文集原稿を提出する際に、必ず参加費を納入してください。
- 申込方法** 添付の講演申込用紙(1件1枚)に必要な事項を記入し、宛先明記の原稿用紙送付用封筒(大きさA4判…21cm×30cmのもの。切手は不要)を同封のうえ、**56年6月22日(月)**までに(必着)、下記申込先へお送りください。
- 論文提出** 所定の原稿用紙を7月下旬に送付しますので、昭和56年8月31日(月)までにご提出ください。用語は日本語または英語に限ります。
- その他** 詳細については、決定次第本欄にてお知らせします。
- 申込先** 〒105 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館内308-3号室
(社)情報処理学会 第23回全国大会係 電話03(431)2808

論文該当分野

1. 基礎
 - a. 計算理論, b. アルゴリズム, c. プログラム理論, d. その他
2. アーキテクチャおよびハードウェア
 - a. システムアーキテクチャ, b. 演算装置
 - c. 記憶装置, d. 入出力装置, e. 端末装置, f. 性能評価, g. 信頼性, h. 保守技術, i. マイクロプログラミング, j. その他
3. ソフトウェア
 - a. オペレーティングシステム, b. プログラミング言語, c. 言語処理, d. 性能評価
 - e. 信頼性, f. ソフトウェア工学, g. その他
4. データベース
 - a. データベーマシン, b. データマネジメント, c. 分散データベース, d. 性能評価
 - e. 情報検索, f. その他
5. コンピュータネットワークおよび分散処理
 - a. システム, b. アーキテクチャ, c. プロトコル, d. 性能評価, e. その他
6. パタン処理および人工知能
 - a. 文字認識, b. 画像処理, c. 自然言語理解, d. 音声, e. 人工知能・知識工学,
 - f. ロボット, g. その他
7. 数値計算
8. マイクロコンピュータ
9. 日本語処理
 - a. 文解析合成, b. 字づら処理・辞書,
 - c. 入出力, d. その他
10. オフィスシステム
11. 技術, 産業への応用
 - a. CAD, b. CAM, c. グラフィックス
 - d. シミュレーション, e. その他
12. 経営・社会システムへの応用
13. その他

